



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962

URL <https://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) CFO・常務執行役員 兼

ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員 (氏名)高波 徹 (TEL) 03-6777-7579

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家向け資料)

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け説明会)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	99,368	△0.2	9,627	△18.6	10,272	△20.5	7,219	△22.0
2025年3月期第1四半期	99,527	10.7	11,828	31.4	12,916	31.3	9,251	52.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 4,092百万円(△82.1%) 2025年3月期第1四半期 22,815百万円(24.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.28	26.23
2025年3月期第1四半期	32.92	32.84

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	419,053	349,704	82.8
2025年3月期	419,574	352,064	83.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 346,962百万円 2025年3月期 349,283百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	19.83	—	23.38	43.21
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	17.71	—	21.54	39.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	204,000	3.0	19,400	△17.1	20,000	△20.7	13,900	△23.6	50.60
通期	422,000	5.0	42,900	△7.7	43,300	△13.2	30,800	△15.7	112.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 8 社 (社名) Fictiv Inc. 他7社 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	285,088,697株	2025年3月期	285,057,297株
2026年3月期1Q	10,372,985株	2025年3月期	10,372,985株
2026年3月期1Q	274,703,562株	2025年3月期1Q	281,022,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(企業結合等関係) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期における世界経済は、アメリカの関税政策やそれに伴う各国への影響、不安定な為替相場など先行き不透明な状況が継続しました。これによりグローバルで主要顧客産業である自動車関連の稼働低迷の影響を受けました。一方、中国においては、通信関連や電子・電機関連等需要は堅調に推移しました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めましたが、一部地域においてはアメリカの関税政策による需要低迷の影響を受けました。

この結果、連結売上高は99,368百万円(前年同期比0.2%減)となりました。利益面につきましては、持続的成長に向けた施策に関わる支出は継続し、為替影響及びM&A関連費用の発生等により、営業利益は9,627百万円(前年同期比18.6%減)、経常利益は10,272百万円(前年同期比20.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,219百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

#### ・報告セグメントの業績

##### ①FA事業

FA事業は、日本・欧州の設備投資需要が低調に推移も、中国の通信関連需要の攻略をはじめmeviyやエコノミーシリーズなど、独自施策による需要獲得でその他地域がカバーし、売上高は33,569百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は、M&A関連費用が加わり、3,922百万円(前年同期比36.8%減)となりました。

##### ②金型部品事業

金型部品事業は、中国や日本においては増収維持も、欧州・米州を中心に自動車関連需要の低迷を受け、売上高は21,060百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は2,116百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

##### ③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた製造・自動化関連設備部品、MRO(消耗品)等間接材を販売するミスミグループの流通事業です。中国やアジアが成長をけん引し、売上高は44,738百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は3,588百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ521百万円(△0.1%)減少し、419,053百万円となりました。この主な要因は、子会社株式の取得に伴う現金及び預金の減少により流動資産が49,772百万円(△15.7%)減少したこと、有形固定資産が671百万円(△1.3%)減少したこと、子会社株式の取得に伴うのれんの増加により無形固定資産が50,702百万円(+152.3%)増加したこと、および投資その他の資産が780百万円(△4.9%)減少したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末と比べ1,838百万円(+2.7%)増加し、69,348百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、未払金が増加した一方で賞与引当金の減少により流動負債が1,412百万円(+2.7%)増加したこと、固定負債が426百万円(+2.7%)増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2,359百万円(△0.7%)減少し、349,704百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加により株主資本が884百万円(+0.3%)増加した一方で、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が3,206百万円(△7.1%)減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度の83.2%から82.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ36,222百万円減少し、92,036百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,859百万円の純収入となりました(前年同期は9,088百万円の純収入)。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が10,272百万円、減価償却費が4,164百万円、賞与引当金の減少額が2,877百万円、売上債権の増加額が2,037百万円、仕入債務の減少額が3,241百万円、未払金の増加額が2,362百万円、法人税等の支払額が2,989百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、30,029百万円の純支出となりました(前年同期は17,160百万円の純支出)。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が2,658百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が48,483百万円、定期預金の預入による支出が3,480百万円、定期預金の払戻による収入が24,655百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10,272百万円の純支出となりました(前年同期は11,659百万円の純支出)。この主な内訳は、取得した子会社の借入金の返済による支出が3,289百万円、配当金の支払額が6,422百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績につきましては、アメリカの関税影響を受け自動車関連産業を中心に設備投資需要に慎重な姿勢が見られました。一方、当社は顧客の需要を的確に捉えることに尽力し、持続的な成長に向けて実行した新商品・新サービス開発を含む新事業政策は概ね計画通りに推移しました。

2026年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2025年6月17日（米国時間）付で完全子会社化したFictiv Inc.の連結後業績の反映、並びに足元の需要や為替動向を勘案し、下記のとおり修正いたします。

なお、今後事業環境の変化等により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

(2025年7月1日から2026年3月31日までの期間における平均為替レートについては、米ドル：139.0円、ユーロ：160.0円、人民元：19.3円を前提としております。)

## [2026年3月期 第2四半期（累計）（2025年4月1日～2025年9月30日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
今回修正予想	204,000	19,400	20,000	13,900	50.60
前回発表予想	193,000	20,000	20,500	14,800	53.88

## [2026年3月期 通期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	422,000	42,900	43,300	30,800	112.12
前回発表予想	400,000	43,500	44,500	32,000	116.50

配当予想につきましては、本日公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	159,296	101,379
受取手形及び売掛金	78,390	81,873
商品及び製品	57,186	57,959
仕掛品	3,661	3,236
原材料及び貯蔵品	8,805	8,251
その他	10,863	15,913
貸倒引当金	△397	△580
流動資産合計	317,805	268,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,536	21,197
機械装置及び運搬具（純額）	15,626	15,091
土地	4,259	4,290
その他（純額）	11,099	11,271
有形固定資産合計	52,522	51,850
無形固定資産		
ソフトウェア	27,677	27,815
のれん	—	50,907
その他	5,605	5,263
無形固定資産合計	33,283	83,985
投資その他の資産		
投資有価証券	1,224	1,125
その他	15,126	14,488
貸倒引当金	△387	△430
投資その他の資産合計	15,963	15,183
固定資産合計	101,769	151,020
資産合計	419,574	419,053

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,189	22,437
未払金	8,667	11,790
未払法人税等	4,476	2,614
賞与引当金	5,882	2,993
役員賞与引当金	230	73
その他	11,429	13,379
流動負債合計	51,876	53,288
固定負債		
退職給付に係る負債	7,337	7,541
事業整理損失引当金	61	59
その他	8,235	8,459
固定負債合計	15,634	16,060
負債合計	67,510	69,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,483	14,527
資本剰余金	24,585	24,629
利益剰余金	293,546	294,343
自己株式	△28,352	△28,352
株主資本合計	304,263	305,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	△150
為替換算調整勘定	44,858	41,754
退職給付に係る調整累計額	212	209
その他の包括利益累計額合計	45,020	41,814
新株予約権	1,663	1,631
非支配株主持分	1,116	1,110
純資産合計	352,064	349,704
負債純資産合計	419,574	419,053



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	99,527	99,368
売上原価	52,374	53,428
売上総利益	47,152	45,939
販売費及び一般管理費	35,324	36,311
営業利益	11,828	9,627
営業外収益		
受取利息	1,062	805
雑収入	123	124
営業外収益合計	1,186	930
営業外費用		
支払利息	38	29
為替差損	28	234
支払手数料	1	0
雑損失	30	21
営業外費用合計	98	286
経常利益	12,916	10,272
税金等調整前四半期純利益	12,916	10,272
法人税等	3,639	3,015
四半期純利益	9,276	7,256
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,251	7,219

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	9,276	7,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△99
為替換算調整勘定	13,509	△3,056
退職給付に係る調整額	24	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△4
その他の包括利益合計	13,539	△3,163
四半期包括利益	22,815	4,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,806	4,012
非支配株主に係る四半期包括利益	8	79

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,916	10,272
減価償却費	4,486	4,164
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89	168
賞与引当金の増減額(△は減少)	△411	△2,877
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	140
受取利息及び受取配当金	△1,062	△829
支払利息	38	29
株式報酬費用	219	209
為替差損益(△は益)	28	△262
持分法による投資損益(△は益)	△9	△11
売上債権の増減額(△は増加)	△1,347	△2,037
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,635	△331
未収消費税等の増減額(△は増加)	△430	△696
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,778	△3,241
未払金の増減額(△は減少)	△739	2,362
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,294	△900
その他の負債の増減額(△は減少)	△279	1,144
小計	13,049	7,145
利息及び配当金の受取額	691	733
利息の支払額	△38	△29
法人税等の支払額	△4,614	△2,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,088	4,859
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△3,948	△2,658
定期預金の預入による支出	△25,417	△3,480
定期預金の払戻による収入	12,147	24,655
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△356
敷金及び保証金の回収による収入	97	92
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△48,483
その他	△6	202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,160	△30,029
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△6,891	—
借入金の返済による支出	—	△3,289
配当金の支払額	△4,190	△6,422
リース債務の返済による支出	△554	△498
その他	△23	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,659	△10,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,752	△779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,979	△36,222
現金及び現金同等物の期首残高	133,376	128,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	120,397	92,036

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	33,559	21,887	44,080	99,527	—	99,527
外部顧客への売上高	33,559	21,887	44,080	99,527	—	99,527
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	33,559	21,887	44,080	99,527	—	99,527
セグメント利益	6,210	2,441	3,176	11,828	—	11,828

※ セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	33,569	21,060	44,738	99,368	—	99,368
外部顧客への売上高	33,569	21,060	44,738	99,368	—	99,368
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	33,569	21,060	44,738	99,368	—	99,368
セグメント利益	3,922	2,116	3,588	9,627	—	9,627

※ セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、Fictiv Inc. およびその子会社7社を買収いたしました。これに伴い、FA事業セグメントにおいて、のれんが50,907百万円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(補足情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
42,367	20,058	15,888	11,587	7,124	2,500	99,527

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
14,700	15,241	5,584	9,107	9,399	54,033

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
41,865	21,010	15,814	11,506	6,710	2,460	99,368

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
15,182	14,957	4,031	8,796	8,882	51,850

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

当社は、2025年4月17日開催の取締役会において、当社の米国子会社であるMISUMI Investment USA Corporation（以下、「MIUC」という。）を通じて、米国製造業におけるカスタム機械部品のオンライン調達サービスを提供するFictiv Inc.およびその子会社7社（以下、「Fictiv社」という。）を買収すること（以下、「本買収」という。）を決議し、Fictiv社との間で本買収に関する合併契約を締結いたしました。当該契約に基づき、2025年6月17日（米国時間）に買収が完了いたしました。

## 1. 企業結合の概要

本買収は、MIUCが本買収のために設立した完全子会社であるD1 Merger Subsidiary CorporationとFictiv社を合併する方法（逆三角合併）により実行いたしました。合併後の存続会社はFictiv社となり、MIUCより合併対価としてFictiv社の株主に現金対価を交付しております。一方で、D1 Merger Subsidiary CorporationはFictiv社に吸収合併される形で消滅し、存続会社がMIUCの完全子会社となりました。

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Fictiv Inc.
事業内容	カスタム機械部品のオンライン調達サービス提供

## (2) 企業結合を行った主な理由

Fictiv社は2013年設立で、米国製造業におけるカスタム機械部品のオンライン調達サービスを展開しています。米国・中国・インド・メキシコのグローバル4拠点、約400名の従業員を抱え、世界中に約250社の製造業のパートナーネットワークを保有し、カスタム機械部品のオンライン調達サービスプレーヤーとして近年成長を遂げております。Fictiv社の事業は当社の展開するmeviy（メビー）事業と高い親和性があり、高度な技術力と顧客サービス体制、強力な顧客基盤を有しています。

本買収の最大の狙いは、meviyをはじめとした当社のデジタルサービスの強化と同時に、顧客ドメインの拡大にあります。Fictiv社を買収することにより当社の提供する価値を従来の設備製造の領域からよりバリューチェーンの川上にあたる商品開発の領域まで一気に拡大し、持続的な成長への大きな起点としていきます。当社とFictiv社は事業内容や価値観に類似性がある一方で、商品カテゴリーや展開地域においては異なる領域を得意とする補完関係にあることから、当社グループにFictiv社を迎え入れることにより、両社の強みを生かしたシナジー効果を発揮することができると考えます。今後も、当社はグローバルにサービスを展開することでI A産業の非効率を解消し、お客さまの「時間価値」を高めてまいります。

## (3) 企業結合日

2025年6月17日（米国時間）

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする「逆三角合併」による株式取得

## (5) 企業結合後の名称

名称の変更はありません

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社子会社による現金を対価とした株式取得

## 2. 四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

貸借対照表のみを連結しているため被取得企業の業績は当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現金（未払を含む）	50,778百万円
取得原価	50,778百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	1,065百万円
-----------	----------

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

50,907百万円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

## (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。

## (3) 償却方法及び償却期間

15年間にわたる均等償却

## (重要な後発事象)

当社は、2025年7月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

## 1. 理由

当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるインダストリアル・オートメーション（I A）産業の持続的成長へ貢献し、I A産業の自動化、省力化による社会の持続的発展を支える、成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に貢献する事業モデルの進化に取り組んでいます。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、更なる資本効率向上に注力し、エクイティスプレッド拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主還元は、バランスをとりながら実施してまいります。

キャッシュアロケーションについては、レバレッジ活用を含む手元資金及び将来キャッシュフローをM&A含む成長投資や自己株式取得へ、株価水準などの状況も踏まえて機動的にアロケーションする方針としております。今般、キャッシュマネジメントの進展に伴い、BCP対応を含む必要資金を従前の約1,000億円から約700億円へ見直したことを踏まえ、余剰資金は株価水準等も総合的に勘案のうえ、自己株式取得に充当することといたしました。本自己株式取得は、機動的な資本政策と株主還元の充実を目的に実施いたします。

## 2. 取得する株式の種類：普通株式

## 3. 取得する株式の数：17,000,000株(上限)

(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合6.19%）

## 4. 株式取得価額の総額：25,000百万円(上限)

## 5. 自己株式取得の期間：2025年8月1日～2026年3月31日

## 6. 取得方法：取引一任方式による東京証券取引所における市場買付

## (ご参考) 2025年6月30日時点の自己株式保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	274,715,712株
自己株式数	10,372,985株